

# 会 議 録

|         |  |       |  |        |  |        |  |
|---------|--|-------|--|--------|--|--------|--|
| 会 議 名   | 第4回 環境パートナーシップ会議設立準備会会議録   |       |  |        |  |        |  |
| 開 催 日 時 | 平成15年11月10日(月) 午後6時00分～午後8時50分   |       |  |        |  |        |  |
| 開 催 場 所 | 宇都宮市教育センター 503研修室  |       |  |        |  |        |  |
| 出 席 者   | 準備会委員  | 青木 章彦 |  | 荒木 廣治  |  | 大野 邦雄  |  |
|         |  | 大谷津 孟 |  | 神宮 由美子 |  | 陣内 雄次  |  |
|         |  | 高橋 悟  |  | 藤原 宏史  |  | 御子貝 荒江 |  |
|         |  | 三宅 徹治 |  | 森本 久子  |  |        |  |
|         | ワークショップファシリテーター  | 岡田 雅代 |  |        |  |        |  |
| 事 務 局   | 宇都宮市環境企画課宇梶統括グループリーダー他7名   |       |  |        |  |        |  |
| 公開・非公開  | 公開・傍聴人なし   |       |  |        |  |        |  |
| 議 題     | <p>議 事</p> <p>(1) (仮)環境パートナーシップ会議における活動計画について</p> <p>(2) (仮)環境パートナーシップ会議における活動の具体化について( )</p> <p>(3) その他</p> |       |  |        |  |        |  |

## 発言要旨 【1.(仮)環境パートナーシップ会議における活動計画について】

|       |   |
|-------|---|
| 三宅委員長 | 議題1,(仮)環境パートナーシップ会議における活動計画について事務局より報告をお願いします。  |
| 事務局   | では、環境パートナーシップ会議における活動計画についてご報告させていただきます。前回の会議で、来年度からスタートさせるグループについて決定し、それぞれのグループに分かれて活動の年間計画などを書き込む作業を行っていただきました。会議後、お忙しいお時間の中で、フォーム作成リーダーを中心に、その内容についてご精査いただき、今月頭にご提出いただきました(別紙1)。ご提出いただいたそれぞれのグループは、「うつのみや」らしい環境学習を展開する環境学習促進グループ、環境活動の情報の中心点の役割を果たす情報交流グループ、そして環境活動の交流ができる拠点づくりについての企画を行うEモデルショッププロジェクト3つです。それぞれのグループの活動計画に盛り込まれた内容を是非とも、協働で実現するために、今後とも皆さまのお力添えをお願いいたします。簡単ですが、以上で報告とさせていただきます。 |

|       |   |
|-------|---|
| 三宅委員長 | <p>ありがとうございました。ただいまの事務局からの報告のとおり，来年度からスタートさせる3つのグループの活動方針や，年間活動計画を表す活動計画フォーム がグループリーダーを中心としたみなさまのご協力の結果，ほぼまとまりました。本日は，スタートさせる3つのグループについて，より具体化させたいと考えております。具体的な作業としては，お手元の活動計画フォーム を完成させるために，お金，資材，知識，マンパワーなどを担う主体を考えながら，役割分担を明確にしていきたいと考えております。また，年間活動計画を参考に，前倒してモデルワーキングとして行う活動に関するフリートークも行いたいと考えております。協議にあたっては，今回も岡田さんにご支援をいただきながら，ワークショップの手法を用いて行います。</p> |
|-------|---|

| 発言要旨 【2.(仮)環境パートナーシップ会議における活動の具体化について( )】 |  |
|---|--|
| 三宅委員長                                     | <p>続きまして，議題2.(仮)環境パートナーシップ会議における活動の具体化について( )に移りたいと思います。ここからは，岡田さんにご支援をいただきながら進めていきたいと思います。それでは，岡田さんに本日のワークショッププログラムについてご説明をいただいた後，さっそくワークショップ形式で協議していきたいと思います。岡田さん，よろしくお願いします。</p>  |
| 岡田講師                                      | <p>これからグループ行動で作業を行いたいと思います。テーブルごとに3つのグループに分かれています。テーブルごとにフォーム(別紙2)が用意されていると思います。今日の作業としては，一つ目が，活動計画フォーム の年間計画に基づく活動内容の具体化，二つ目が，活動内容に必要なコストの具体化，三つ目が，活動内容に対するコスト負担主体の具体化を考えてみようということで，すでに事務局で用意していただいて，事前にグループごとに活動計画フォーム を出していただきましたが，その中の最後に年間活動計画というものを出力していただいたと思います。</p> <p>この中の，「何をするのか」という項目のところは，グループごとのフォームにすでに書いてあります。今日は時間が限られていますので，書く手間を省けるようにいろいろな物を用意してありますので，今日はそれを使ってやってみてください。最初の30分くらいで，まずは活動内容を詰めるという作業をしていただきます。前回のワークショップで，具体的な活動からこういった骨格的な活動を出して決まりましたので，具体的に何をするのかという事を，いくつか想定して事前に用意いたしました青いラベルを使って，用意されていないものはマーカーで白紙に書いてグループごとに何をやるのかを貼っていく作業を最初の30分くらいでやっていただきたいと思います。</p> <p>早く終わった場合は，次の作業に進んでいただいて結構です。次の30分くらいが，コストを考えてみようというところなんです。これもすでにいくつか想定してラベルを用意してあります。例えば，「コストを考えよう」については，ピンクのラベルですが，前回の会議では，各グループ30万円くらいの予算が使えると回答があったと思いますが，今のワーキンググループの人だけではなくて，来年度以降は，人を募集したりとかいろいろなことができると思うんです。その時に，その一つのグループの中で，30万円の予算だけではなくて，例えばマンパワーであったり，お金にしても，その30万円以外の部分を今いる人たちが知恵を使ってどこかから捻出することも考えられます。</p> <p>他には「資材」とか，「情報」というラベルもありますので，どうしてもそれに該当しなかったら白紙にマーカーで書いていただいて，貼っていただくこととなります。例えば，人を集めることに対して，会議の開催をしますが，その時にコストは「お金」もかかるが，やはり「人」も，というように両方必要になることもあると思いますので，</p> |

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>その時は両方貼っていただくということになります。そして三つ目の「誰が負担するのか」ですが、例えば、人材ですと、今いるワーキンググループだけでは人が足りないのので、一般の人を募集しようとか、お金だったら行政とか、その一部を負担しようとか、さらに細分化される場合もありますし、それぞれの項目を見ながらラベルを貼っていったら、グループで議論して1時間半くらいで作業を終えていただきたいと思います。</p> <p>余裕のあるグループは、このフォームを作成すると活動計画フォーム が書けるように作ってありますので、最初にお話したとおり、11月に事務局で内部的な予算の概算を出すために、きちんと各グループがどういう活動のためにどうしてこの予算が必要なのかが内部的に必要なので、最終的にこの活動計画フォーム のフォーマットに入れていただきたいと思います。その時に「お金」のところを捨てていただいて、経費名、負担主体、内訳を転記していただければ、活動計画フォーム ができるようになっています。今日はここまでやっていただければいいんですけども、最終的には事務局がフォームを元に活動計画フォーム を作成して各グループに確認することになると思います。それでは、グループごとに作業を始めてください。</p> |
|       | <b>グループごとにワークショップ開始。</b>   |
|       | <b>協議終了。</b>   |
| 三宅委員長 | 「情報交流」グループ<br>別紙3のとおり発表。   |
| 岡田講師  | 質問があったらお願いします。 特になし。   |
| 青木委員  | 「(仮称)環境学習促進」グループ<br>別紙3のとおり発表。   |
| 岡田講師  | 質問があったらお願いします。 特になし。   |
| 森本委員  | 「(仮称)Eモデルショッププロジェクト」グループ<br>別紙3のとおり発表。   |
| 岡田講師  | コミュニティビジネス研究会と共同で活動すると、多少、コストを分担できるということですか。   |
| 森本委員  | 可能性としては、スローフード関係で何かをできるかもしれないので、そこで出た収益が資金作りになるかもしれませんが、わかりません。  |
| 岡田講師  | それは今後、もう少し詰めていただくことにして、他に何か質問はありますか。   |
| 高橋委員  | 見学会はもっと早い方がいいと思うんですが。  |
| 森本委員  | それは、随時検討させていただきます。<br>講演会というのは、実際、市の主催ということになると、収益はあってはいけないことですよね。講演会での収益があれば資金作りにつながるのですが、そういう可能性は全くないんですか。   |
| 岡田講師  | 事務局の方に確認したいんですが、これはワーキンググループなので、このあと、みなさんに会議のイメージをお話していただきますが、ワーキンググループは市としての位置付けではないですよね。   |
| 事務局   | 市ではありません。  |
| 岡田講師  | ワーキンググループで講演会を開催して、収益を得ることに対して何か問題はありますか。  |
| 事務局   | 問題はないと思います。環境パートナーシップ会議のワーキンググループの中で行っていただくことであれば、例えば、講演会を開いて入場料をいただくとか、そういったことを含めて考えていただければと思います。   |
| 森本委員  | 市役所の会議室等を使用するのは大丈夫ですか。   |
| 事務局   | 収益を得る目的の講演会ということでは、市の会議室を使用することはできません。   |

|       |  |
|-------|--|
| 森本委員  | では、文化会館とかは大丈夫ですか。  |
| 事務局   | 大丈夫だと思われます。  |
| 岡田講師  | いろいろと工夫して収益がでる方向で検討してください。   |
| 三宅委員長 | 検討会は4月から、年間を通して行うのですか。   |
| 森本委員  | そうですね。検討会に関しては、すぐにでも始めたいと思っています。   |
| 岡田講師  | 全体を見ながら結構なんですけど、モデルワーキングということで、以前は12月頃に人を募集して、みんなでやろうと考えていたんですが、ワーキンググループごとに大変な計画を出していただいているので、その辺を今後どうするのかご意見をいただきたいんですけども、例えば、情報交流グループですと、すぐにでもできるのがアンケートの実施と既存アンケートの再整理、先進事例調査ですね。次に、環境学習促進グループですと、データ分析、先進事例調査ですね。Eモデルショッププロジェクトですと、Eモデルショップ検討会の会議開催、Eモデルショップの実験について最初から一緒に考えていく会議ですね。個別のことになりますが、これを今、議論していただきたいのですが、グループごとですぐできる活動をしていくか、あるいはこの会議に参加されているみんなで一つのことをやるか、どちらがいいのかご意見をいただきたいのですが。 |
| 森本委員  | Eモデルショップというのは、物を売り買いするための場所だけではなくて、イメージとしてはエコステーションであり、いろんな機能を包括するようなイメージをみなさんは持っていると思うんです。ですから、3つのグループが一緒になった部分と、別の特筆する部分では、Uブランドなどで何を作っていくか、何を決めていくかということで、2つに対極できると思うので、3つに分けられるとすごくもったいないと思います。  |
| 岡田講師  | Eモデルショップは3グループとも関係あるということですね。先ほどの、すぐに始められる活動についてはどうですか。それは個別で活動していった方がいいですか。でも、今まで、自分たちで活動するつもりでやってきたんですから、グループごとに活動していきますか。余力があって、参加できる方はやっていただくことにしますか。<br>それでは、それぞれの活動については、グループごとに始めてみるということにします。例えば、次年度以降にもう少し人を募集して増やすということは、ある程度、全体の環境パートナーシップ会議が整った段階で、人は増やせると思いますので、それまではグループごとで進めていきたいと思いますが、よろしいですか。  |
|       | <b>委員全員了承。</b>   |
|       | <b>全体の環境パートナーシップ会議のイメージについて</b>  |
| 岡田講師  | 次に、全体のパートナーシップ会議のイメージについてですが、具体的な活動を詰めたことで、来年度のイメージがだんだんできてきたと思うんですね。グループごとにバラバラに活動しているのもったいないとの意見もありましたが、この全体の環境パートナーシップ会議のあり方に影響していくと思うんです。それぞれのグループが、どんどん活動していった構わないんですが、だとすると、この環境パートナーシップ会議は何をする所なのかなということ、次の会議のためにアイデアをいただきたいと思いません。何か意見はありますか。  |
| 高橋委員  | 一番大きな入れ物が環境パートナーシップ会議だと思う。たまたま今は、将来のイメージから言えば3つのワーキンググループの形をしているけれども、それ以外のやりたいことのアイディアだったり、やれることだったりということが、他にたくさんあると思うんです。それを最初に議論する場所、整理する場所というのが環境パートナーシップ会議だと思っています。そこから芽を出したのが個別のワーキンググループで、個別のワーキンググループは、そのあと将来そこから立ち上がるものもあるだろうし、立ち立しないものもあるのかな、というイメージで環境パートナーシップ会議というものを見えています。誰かが何かをやりたいと思った時に最初に声を掛ける場所が、環境パー  |

|       |  |
|-------|--|
|       | トナーシップ会議だと思います。そこでは、ワークショップという方法とかいろいろな方法を含めてそういう活動をするための最初が環境パートナーシップ会議かなと思います。   |
| 三宅委員長 | 元々、環境パートナーシップ会議というのは、宇都宮市の環境基本計画を推し進めていくという役割を担っているのので、環境基本計画の進捗状況をチェックする機能もあるのかなと思います。  |
| 岡田講師  | 以上の意見がでましたが、次の環境パートナーシップ会議に反映させたいので、他にも意見がありましたらどうぞ。   |
|       | <b>特になし</b>  |
| 岡田講師  | 進捗状況ということで、環境学習促進グループでは単年度の活動ではなくて、毎年繰り返すと先ほど言っていたので、これを毎年環境パートナーシップ会議に諮るということはできますか。  |
| 青木委員  | その中で毎年メニューが増えていくのか、変わっていくのかは決められると思います。  |
| 岡田講師  | 情報交流グループではどうですか。   |
| 三宅委員長 | 活動はどんどん自己増殖しなければならないですかね。  |
| 大野委員  | 環境パートナーシップ会議のイメージについてですが、環境基本計画で、環境の課題は何か、それに対してどういう対策をしたらよいかということが整理されているので、それをどういう風に行うかを実行していくのかを話し合うのが環境パートナーシップ会議だと思います。ですから、いろいろな項目が挙げられてますので、それを具体的な形として、例えば行政がやらなければいけないもの、市民でもやれるもの、あるいは市民と行政が協働でやれるもの、そういったものをピックアップしてタイムスケジュールを作っていくのが環境パートナーシップ会議だと思います。もちろん、すべてが出来るわけではありませんから、出来るものを優先順位を付けてタイムスケジュールを作り、より具体的な形で計画していくことかなと思います。 |
| 岡田講師  | 他に何かありますか。<br>情報交流グループでは、ホームページを媒体にして、何を発信するのかという中身がないと発信できないので、ニーズ調査会議というのがかなり時間をかけて行っているんですけども、他のグループの活動が充実してくると、どんどんホームページに載せて公開していけると思うんです。  |
| 青木委員  | 環境絵本とかマイバックについては、ぜひホームページに載せて欲しい。  |
| 岡田講師  | そういう意見交換とか、話をもってくるのもこの場所になるんですね。だいたい、今みたいに、定期的にこういった活動をやりつつ、定期的に環境パートナーシップ会議も開催していくということなんでしょうか。先ほど、情報交流グループでは、なるべく自立できる方向にしたいというご意見があったんですけども、例えば、今やっているワークショップは行政サイドで準備していますけれども、今後、例えばワーキンググループとか、環境パートナーシップ会議自体は誰が運営していくかということも大事なことだと思いますので、もしアイデアがあったらご意見をお願いします。  |
| 大野委員  | 自立とは裏腹な関係があるので大変難しいとは思いますが、こういった活動をするための費用はどうするのか。いろいろな活動をしようとするとお金がかかるわけで、それについては、自分で稼ぎながら活動していこうという案がでていますが、私自身は稼ぎながらというのは疑問があるんです。稼がなかったら活動ができないのか、ということになってしまいますので、資金調達ができなくなった時は活動停止になってしまうと、資金を稼ぐのが目的になってしまう恐れがある。それから、そういう資金面に関する、少なくとも最低保証的なものについては、行政に面倒を見てもらわなければいけないのかなと思います。   |

|       |   |
|-------|---|
| 岡田講師  | 環境パートナーシップ会議ということなので、協働でやっていこうという意味合いも込めていると思いますので、その辺は今後の課題とし議論していきたいと思います。他にありますか。  |
| 藤原委員  | 10月に、あるシンポジウムがあったんですが、その時にでた意見として、「節水しようとしたけど私はやめました」というものがありました。なぜかという、節水しても何のメリットもないということなんですね。水道料金は基本料金がありますので、節水して14リットルにしたけれども安くないからメリットはない。という意見はなかなか吸い上げられないので、環境パートナーシップ会議では拾い上げてみるのもいいのではないかと思います。   |
| 御子貝委員 | こういうことをやりながら、認識を深めていくというのも目的だと思うんですね。エコショップについては、なかなか人材がいなくて、やめてしまうということもあるとは思いますが、儲かりすぎて困るという場合も出てくると思いますから、そこは上手にお金があまり残らないように、足らなくならないように上手にやっていかなければならないと思います。それから、行政と一緒にやっていくのが基本で、手を離すとか離さないとかは別の問題で、行政とともに学習して進めていくというのは永遠に変わらないと思います。   |
| 岡田講師  | エコショップで出た利益は、全体の運営にまわす事などで対応することになるんでしょうかね。多分、全体として儲かるということは、あまりないと思うんですが。  |
| 森本委員  | 先ほど申し上げたように、利益の上がるものはいろいろな業者がやっているの、利益がなくてもやらなくてはならないから行政が始めたことで、それでEモデルショッププロジェクトという案も出てきたわけです。環境パートナーシップ会議は、環境基本計画をどうしたら実現化するかというツールであり、利益を上げることが目的ではないんです。これをするので、ショップがうまく機能することになったら、本当にゴミの少なくなるような売り方、買い方をしたいんです。そこまでいかないと、これをやった意味がないんですね。利益を得るためにやる訳ではなくて、そういうことが市民の中に定着できるようにするためのツールなんです。あくまでもこの部分は踏まえておかないといけないと思います。<br>この案は、環境基本計画を実現するためにこのツールをぜひ使っていこうという提案です。例えば、ビニールバッグをなぜ業者が出しつづけるのかはサービスと思っているからなので、それを無くせというのは、サービスの低下になるから出来ない、と言われると思います。それならば、サービスというものが別のことで還元できるような事を考えられる所でない、それは実現できないだろうと思います。行政の方の話を聞いていると、早く自立しろと言っているようなニュアンスがほのめかされるんですが、あくまでも協働で活動して、本当に市民の中に定着した時点で、独立していけばいいのかなと思います。 |
| 事務局   | 市の方でも、環境パートナーシップ会議を実際に動かしたい、環境基本計画を作って、その後、実践する場としたいということで、この準備会で協議していただいて、実際、この3つのグループについても本当に動いていただきたい、と考えております。そのためには、やはり庁内の合意をとらなくてはならない。そのためには、やはり組織というものが大切で、環境パートナーシップ会議が、このワーキンググループを動かすためには、どういった組織で、どういったやり方で運営していけば動いていけるのかということも、大変重要なところでありますので、今回は、環境パートナーシップ会議はどのようにすれば一番動きやすく、こういった活動を進めていけるのかという部分を、みなさんに検討していただければと思っております。   |
| 森本委員  | それでは、ぜひお願いしたいことがあるんですが、宇都宮市の今までの施策の中で、例   |

|                     |  |
|---------------------|--|
|                     | <p>えば、宇都宮市美術館を建てた時、それから茂原の清掃工場を建てた時、それから、今、宇都宮城を建てようとしてますが、それがどういう風にして実現してきたか、どういう風にして計画されて可能性が出てきたのか、などを教えていただくと少しは参考になるのかなと思います。</p>   |
| 岡田講師                | <p>今はモデルショップですけれども、先ほどの意見にあったとおり、これは重要で市民レベルでは出来ない、本当に公共性があると判断したら、多分市が動くと思うんです。だから、どうなると宇都宮市の事業としてできるのかということは、大変参考になると思います。ただ、どこまで自分たちで頑張れるのかということがないとやるという説得力にはつながらないと思います。いろいろ、難しい課題を抱えてきていると思うんですけれども、やっていること自体を実験だと思って、来年はのびのびとやっていただければと思います。</p>  |
| 三宅委員長               | <p>冷静になってみると、この会議は、ワーキンググループが動いたよ、ということだけで終わってしまうのは、少し違うのかなと思います。この会議は、あくまでも環境パートナーシップ会議の準備会という視点を見失ってはいけないと思います。次回以降もそういう視点を大切にしていきたいと思います。そんな中、気になっていることは、環境基本計画の中で2つのリーディングプロジェクトをやろうと決めていて、1つはうつのみやUネットを起動させようということ、これはたまたま情報交流グループがなりうると思っていますが、もう1つの出来てないことが、環境学習関係でISOを市民とか学校で取ろうということです。それはいずれ、ワーキンググループ形式がいいのかは分かりませんが、少し煽らないと動きだせないのではないかと考えてます。</p> |
| 岡田講師                | <p>それは、以前のワークショップの時に、投票で落ちてしまったものなんですが、市の方ではやりたいことだったんですね。こういうことも含めて、まだやっていないものの中で、実は大事なことがあるんだといった時に、環境パートナーシップ会議の中で長期的に話していけばいいことだと思います。いろいろ具体的なことがあると、環境パートナーシップ会議で議論が出来ると思いますので、次回もワークショップでやるので、あまり堅い話ではなく、どういう風にしていったらいいのかをみんなで方向性を共有できたらいいかなと思っています。ぜひ、次回に向けていろいろなアイデアを詰めてきてください。これでワークショップは終了とさせていただきます。</p>  |
| 三宅委員長               | <p>どうもありがとうございました。今日の議事は以上で終了となります。事務局から何かありますか。</p>   |
| 事務局                 | <p>今日、作業していただいたものにつきましては、戻りまして事務局の方でまとめまして、なるべく早くグループリーダーの方にメールで差し上げたいと思っています。それに基づいて修正等がありましたら、12月8日までに事務局に送付していただければと思います。また、次回の会議の日程ですが、12月15日に開催したいと思っていますので、よろしく願いいたします。</p>  |
| 三宅委員長               | <p>それでは、以上をもちまして第4回環境パートナーシップ設立準備会を閉会したいと思います。ありがとうございました。</p>   |
| <p>閉会 : 午後8時50分</p> |  |